

第89回

琉大21世紀フォーラム

テーマ 「国連と持続可能な開発」

(講演は英語で行い、日本語通訳はありません。)

日時

 平成29年1月10日(火)
10:30~11:45

会場

 琉球大学研究者交流施設
50周年記念館

概要

2015年に採択され、2030年までの15年間にわたって実施される持続可能な開発目標(SDGs)は、あらゆる場所の貧困撲滅を目的としたものであると同時に、私の母国のカナダや日本などの国々がそれぞれに達成すべきゴールが数々あることを確認させるものです。この持続可能な開発目標はミレニアム開発目標(MDGs)を引き継ぎ、ミレニアム開発目標の多くが既に実施されている時に採択されました。中国とインドでの目覚ましい進捗により主要項目を達成することができました。その一方で、国際的な取り組みに頑なに協力的でない国々もありました。

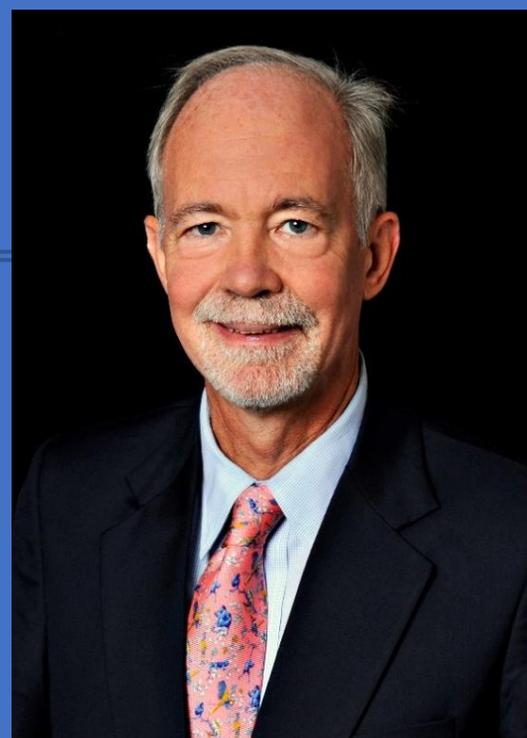
多くの貧困国の著しい発展が見られる中、国連は貧困問題を重点的に取り組んでいくべきなのでしょうか？もしそうでしたら、国連の比較優位性とは？持続可能な開発目標の意欲的な課題を達成するにはどのような主要パートナーが必要となるのでしょうか？

講演者

David M. Malone (デイビット・マローン)
(国際連合大学学長・国際連合事務次長)

カナダ出身のマローン学長は、モントリオール商科大学から経営学士号、アメリカン大学(カイロ)からアラビア語修了証書、ハーバード大学ケネディ行政大学院から行政学修士号、オックスフォード大学から国際関係の博士号を取得。

2013年に国連大学学長に就任する以前は、開発途上国における政策関連の研究支援、資金提供を行なう機関であるカナダ国際開発研究センターの総裁を務めた。国連経済社会理事会のカナダ代表、国連のカナダ大使および代表部次席代表、さらにカナダ外務・国際貿易省の政策、国際機関、地球規模問題局局長、ニューヨークの国際平和アカデミー(現国際平和研究所)所長、カナダ外務・国際貿易省次官補、カナダの駐インド高等弁務官、ブータンおよびネパールの非常駐大使を歴任。また平和と安全保障問題などに関して多数の著書がある。



お問い合わせ ※要事前申込

琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係

TEL:098-895-8031

FAX:098-895-8185

琉大21世紀フォーラム ACCESS MAP

交通機関

高速バス・モノレールで琉球大学へ
空港▶琉球大学

■ 高速バス 1時間に1本程度/所要時間:4~5分

111 番線 琉球バス・沖縄バス・那覇バス
東陽バスの4社が交互運行

113 **123** 番線 琉球バス

■経路:空港⇒沖縄自動車道⇒琉大入口下車
(琉大入口にて下車、琉大北口まで徒歩で約4分)

■ 沖縄都市モノレール

空港 儀保駅 首里駅 琉球大学

所要時間 約25分 約2分 約20分

路線バスで琉球大学へ
バスターミナル▶琉球大学

■ 路線バス 各20~40分に1本程度/所要時間:40~50分

琉大東口・北口方面 **97** 番線 琉球バス

■経路:バスターミナル⇒国際通り(牧志)⇒儀保(首里)
⇒琉大附属病院⇒琉大東口⇒琉大北口(終点)

琉大北口方面 **98** 番線 琉球バス

■経路:バスターミナル⇒国際通り(牧志)⇒バイパス⇒
真栄原⇒沖国大前⇒琉大北口(終点)



第89回琉大21世紀フォーラム 参加申込書

	企業・団体名	氏名
1		
2		
3		
4		
5		

当日受付にて混雑を避けるため、事前申込みにご協力ください。
ご参加予定の企業・団体名、参加者氏名をご記載の上、1月5日(木)までに下記まで、FAXもしくはメールにてお申込みください。

【個人情報について】

本フォーラム申込み等で取得した個人情報については、本学の個人情報管理規則に基づき適切に管理し、本フォーラムの参加者への案内・運営以外の目的には使用いたしません。

お問い合わせ:琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係

TEL:098-895-8031 FAX:098-895-8185

Email:sangaku@to.jim.u-ryukyu.ac.jp